

新設中学校 説明会

平成30年11月3、4日

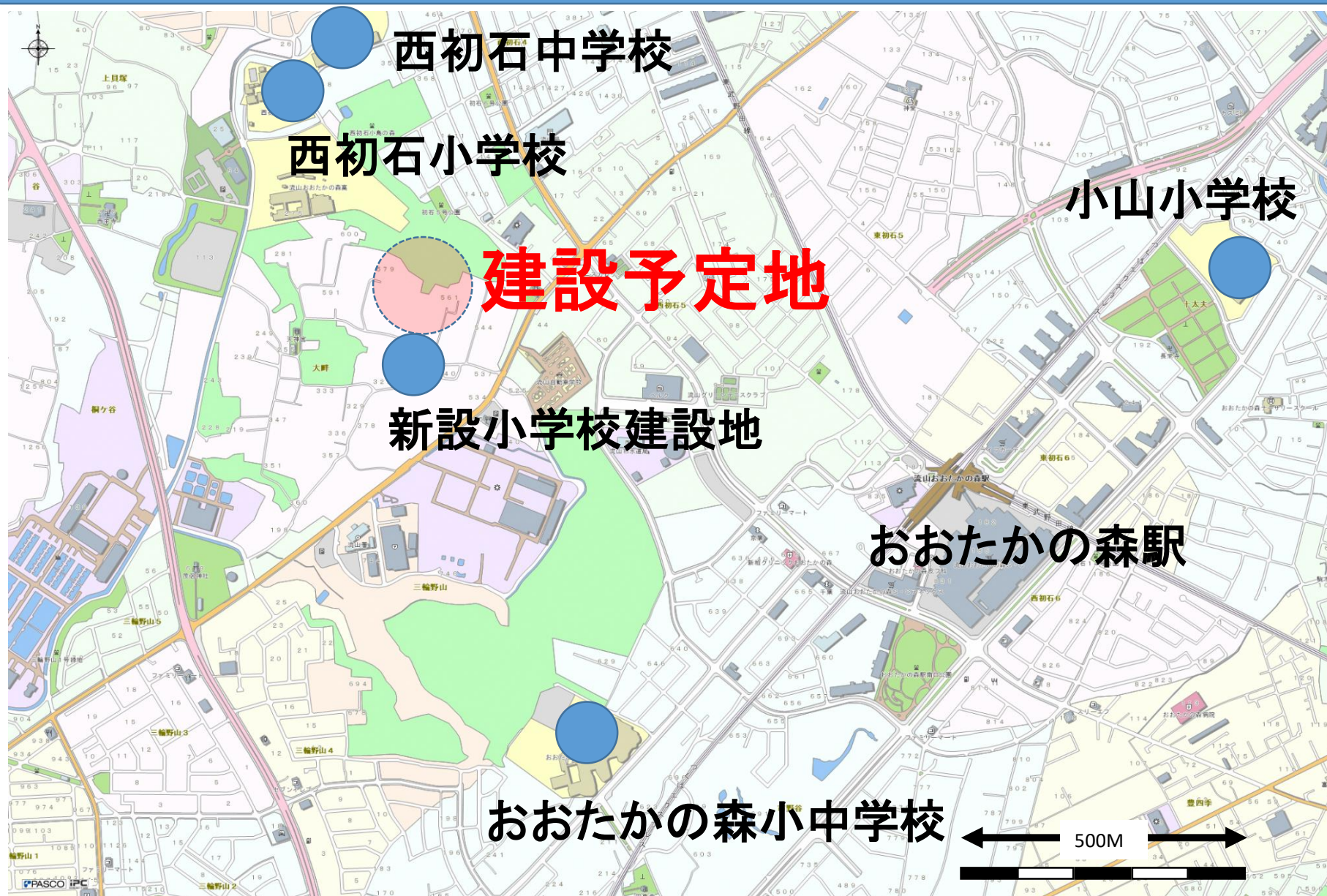
※同じものがお手元の資料にも掲載してあります。

新設中学校 建設について

新設中学校
建設予定地

新設中学校建設予定地

同じものがお手元の資料にも掲載してあります。



建設スケジュール

建設スケジュール

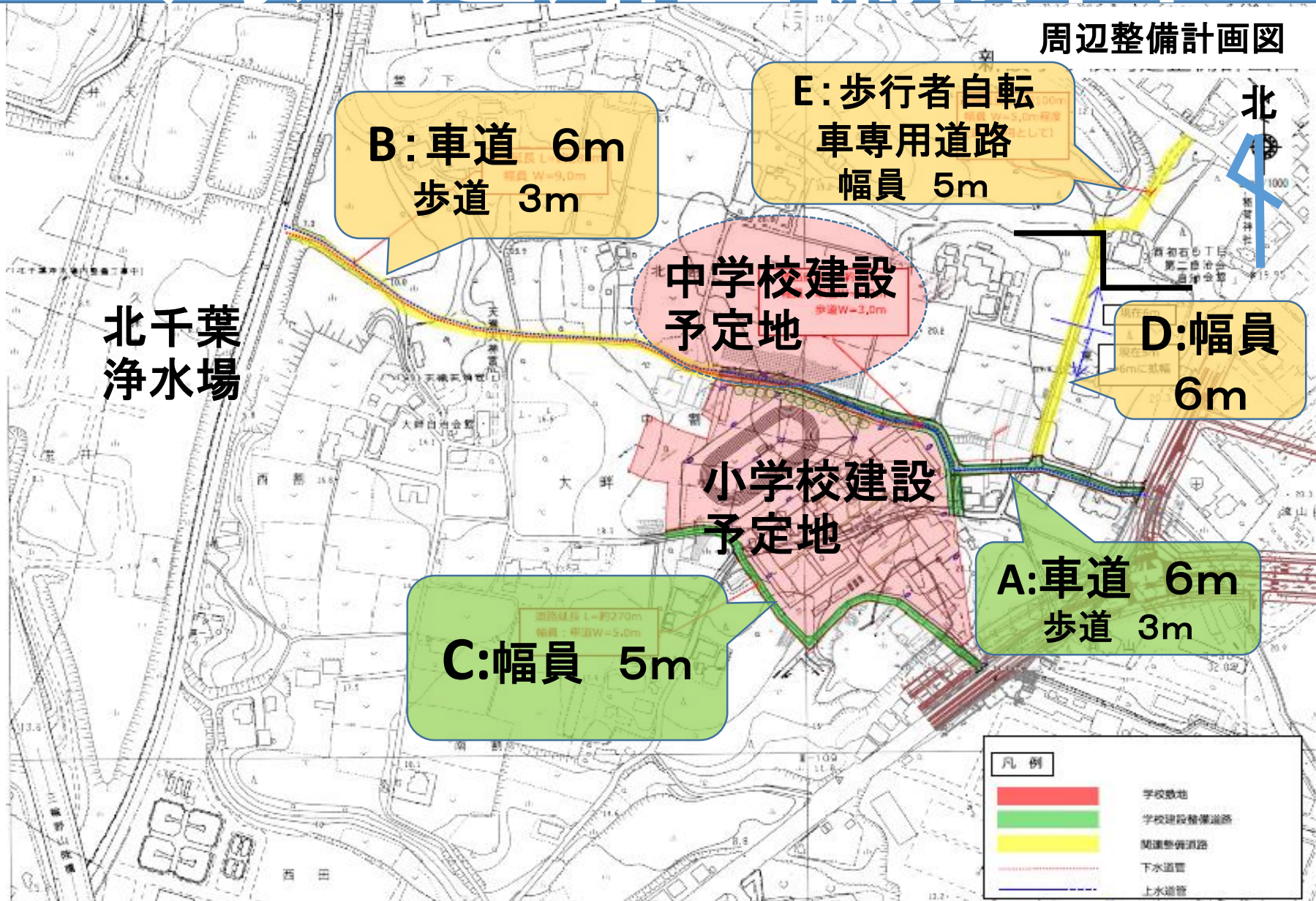
※同じものがお手元の資料にも掲載してあります。

	平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		平成34年度
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	4月
設計業務		基本設計		実施設計					開校
		造成設計							
工事					造成工事	建設工事・外構工事			

周辺道路整備計画

周辺道路整備計画

同じものがお手元の資料に掲載してあります。



学校施設の 目指すべき姿

流山市学校施設の個別施設計画
(平成28年3月)より

学校施設の目指すべき姿

※同じものがお手元の資料にも掲載してあります。

確かな学力の育成ときめ細やかな指導を実践する教育環境の整備（学習空間の充実）

- ・個に応じたきめ細やかな指導の充実を図り、児童生徒に基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させるため、担任、学校サポート教員、算数・数学学習指導員等による少人数授業やチームティーチングなど、多様な学習展開に対応する施設整備を進める。
- ・また、グローバル社会に対応した教育の推進（英語力、コミュニケーション力等の育成）やICTを活用した授業の推進のための環境を整備する。
- ・さらに、児童・生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じ、必要な支援を行う特別支援教育に対応した施設設備を図る。

豊かな心と健やかな体を育成する安全な施設環境の実現（生活空間の充実）

- ・児童・生徒が安心して有意義な学校生活が過ごせるよう、防犯や施設の安全など安全性に配慮した施設整備を図ると共に、障害の有無に関わらず安心して施設を利用できるようユニバーサルデザイン化を目指す。
- ・また、豊かな人間関係づくりや情操の涵養、体力向上を推進するための空間作りを工夫する。
- ・さらに、地球環境に配慮し、持続可能な社会の実現のため、断熱性能の向上、LED照明や人感センサー付き照明の導入、校内緑化の推進等を進める。

地域と共に歩む拠点としての施設整備（地域との連携の充実）

- ・家庭、地域とのネットワークを形成し、学校教育活動を支えるPTA、学校サポートボランティア等の活動の場として位置づける。
- ・また、児童の放課後の居場所、地域の生涯学習の場として、学校を利用することを考慮する。
- ・さらに、地域の防災拠点、避難所としての役割を担う施設として整備を進める。

流山市学校施設の個別施設計画
（平成28年3月）より

新設小学校

イメージ図

(参考)新設小学校 イメージ図

※同じものがお手元の資料にも掲載してあります。



新設中学校 通学区区域(案)について

※同じものがお手元の資料にも掲載してあります。

①人口推移について

- ・流山市の人口推移
- ・おおたかの森中学校区の生徒数の推移

②今後の児童生徒数について

- ・児童・生徒数推計及び想定値

③新設中学校通学区域案について

1988～1990年航空画像(国土地理院)



★ おおたかの森駅(予定地)

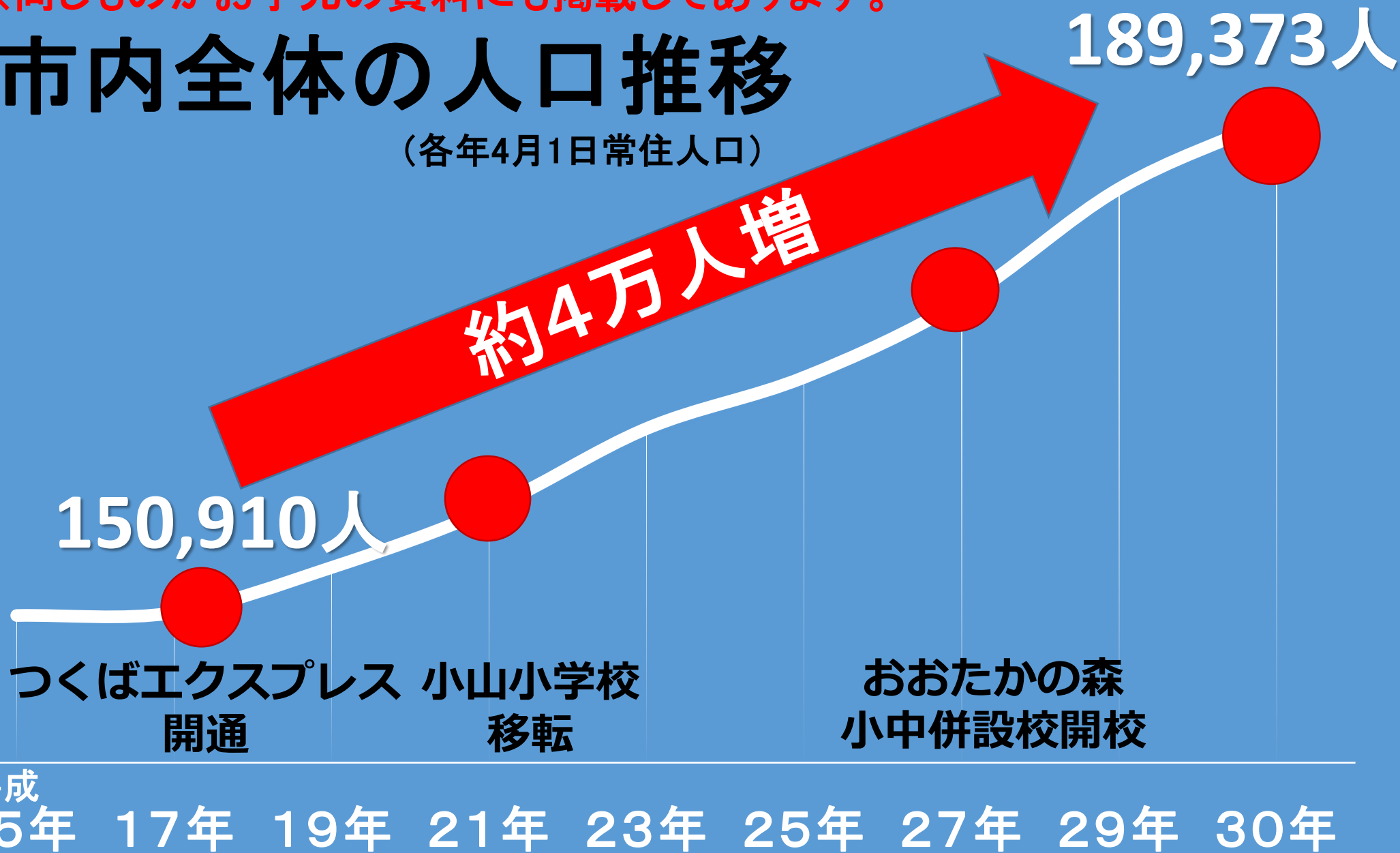
● おおたかの森小学校

流山市人口の推移に ついて

※同じものがお手元の資料にも掲載してあります。

市内全体の人口推移

(各年4月1日常住人口)



新設中学校
開校

H34

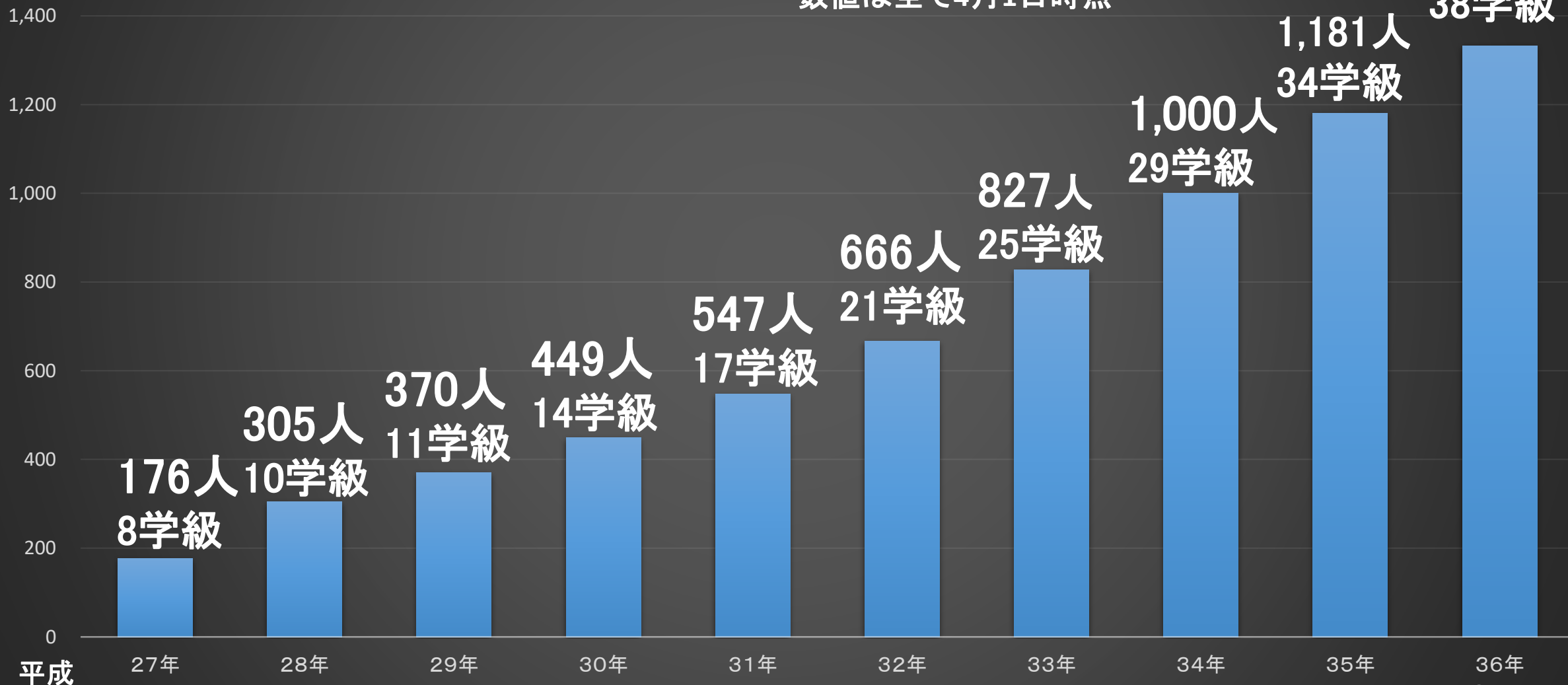
おおたかの森中学校区 生徒数の推移について

※同じものがお手元の資料にも掲載してあります。

おおたかの森中学校区の生徒数及び学級数

(人)

数値は全て4月1日時点

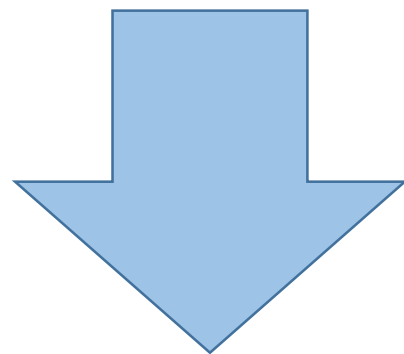


平成

児童・生徒数推計 及び想定値について

※同じものがお手元の資料にも掲載してあります。

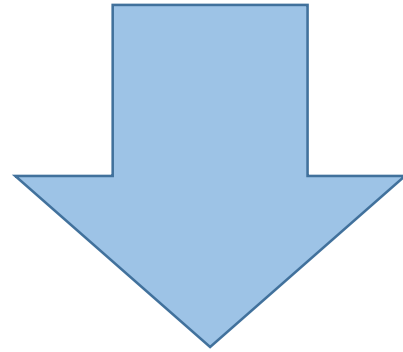
今後の児童・生徒数の増加傾向を 予想・検証



児童生徒数の推計及び想定値

※同じものがお手元の資料にも掲載してあります。

平成30年度の児童・生徒数

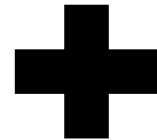


各学校の在籍者数

平成31年度以降

住民基本台帳登録者数

(既に流山市に住民登録のある子どもの数)



今後予測される増加見込み数



建設予定のマンション、
予想される戸建て住宅数から算出

増加見込み数 マンション

過去のマンションの入居実績

↳ 総戸数の約**57%**の子どもが出現
うち、約**66%**が1～3歳児

(例)総戸数400戸のマンションが建設

⇒**228人(57%)**の子ども(1～12歳児)が出現
うち、**150人(66%)**は1～3歳児

増加見込み数 戸建て住宅

新市街地地区
未整備面積

÷

戸建て住宅建築最少面積
(135m²)

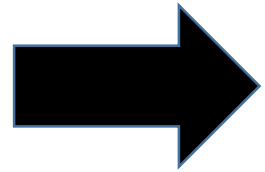
最大建築発生個数

今後予測される
戸建て住宅の最大数

5年間で全ての戸建て
が建設されると仮定

増加見込み数 戸建て住宅

最大建築発生個数



今後予測される
戸建て住宅の最大数

5年間で全ての戸建て
が建設されると仮定

未整備面積135,000m² 5年間均等に入居が進むと**仮定**

発生する総戸数: 1000件

⇒ 年間200件の戸建て住宅内、

1～3歳児は123人(61.6%)出現

※同じものがお手元の資料にも掲載してあります。

学級数について

学級編制基準の弾力的な運用(千葉県)

1年生 35人 1学級

2、3年生 38人 1学級

学級編制基準(国)

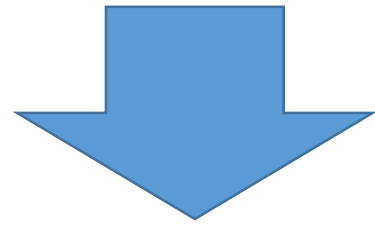
1～3年生 40人 1学級

児童・生徒数増加の傾向と要因

多数の大型マンション建設

区画整理地における戸建て住宅建設の集中

商業地域に居住系マンションの建築



定期的な児童・生徒推計及び
想定値の検証

推計値

想定値

H30年度

H31～33年度

H34～36年度

より実数に近い

不確定要素が多い

小中学校校舎増築における
文部科学省の国庫補助事業
調査対象期間

区画整理地内の整備速度
共同住宅(マンション等)の
開発計画

今年度

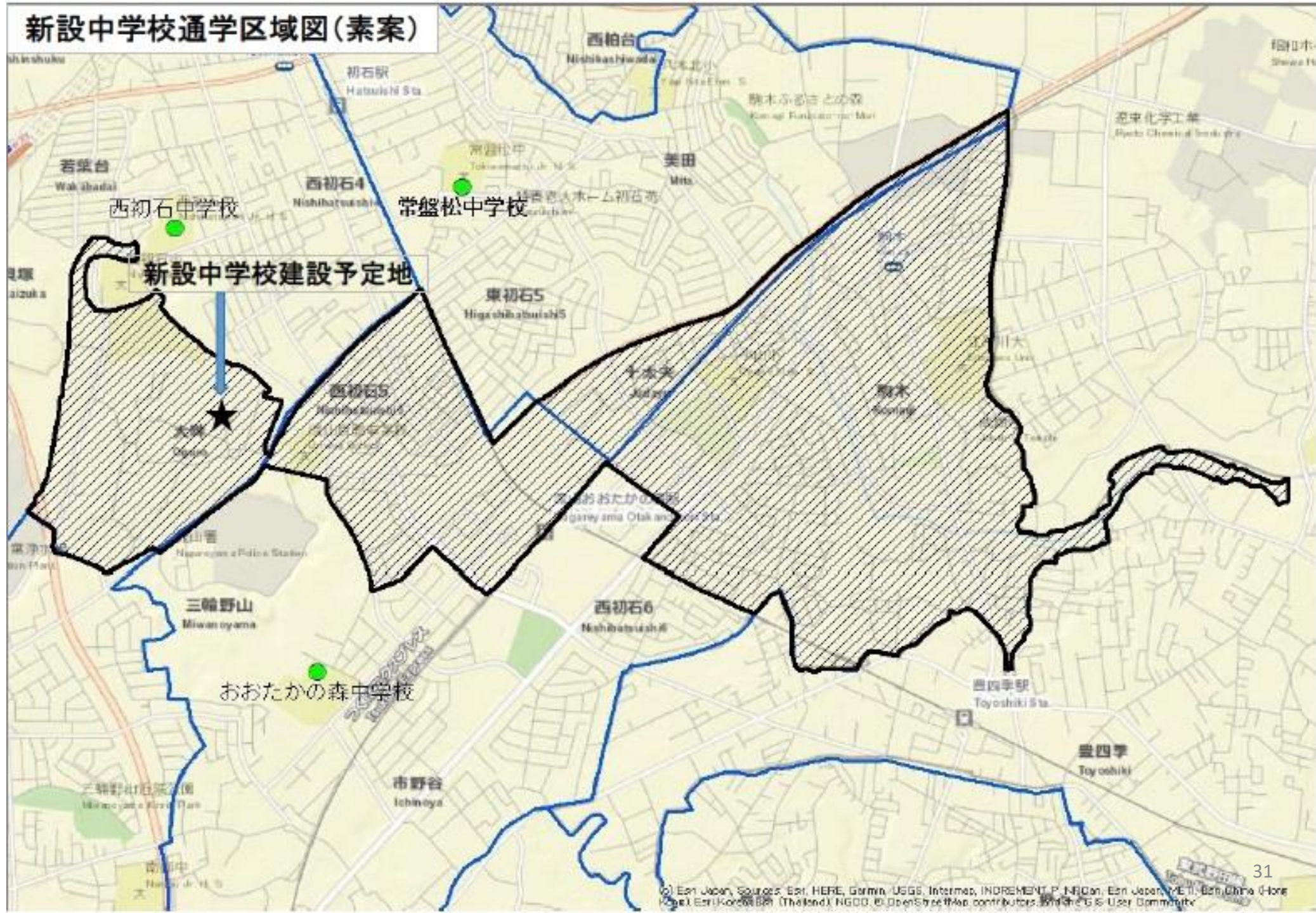
3年間

3年間

※同じものがお手元の資料にも掲載してあります。

新設中学校 通学区区域(案)

新設中学校通学区区域図(素案)



同じものがお手元の資料に掲載してあります。

※同じものがお手元の資料にも掲載してあります。

原則として、新設中学校へは、

- 新設小学校の卒業生
- 小山小学校の卒業生

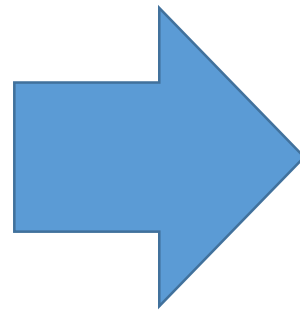
※小山小学校の卒業生について、平成33年度、都市軸道路を境に、北側が八木北小学区、南側を小山小学区となりますので、**南側にお住みの方が対象**となります。

※同じものがお手元の資料にも掲載してあります。

おおたかの森 中学校開校時

(平成27年4月)

中学1、2年生は、
おおたかの森中学校
へ行くこととし、
中学3年生は、
希望制とした。



新設中学校

(平成34年4月)

中学1、2年生は、
新設中学校へ行
くこととし、
中学3年生は、
希望制としたいと考
えています。

学校行事や学校運営に影響がないようにするため。

※同じものがお手元の資料にも掲載してあります。

新設中学校

生徒数及び教室数の 見込みについて

平成30年9月作成 学校教育課

平成34年度

- 希望者・転入者は受入れ

		1年で開校	県費教職員数	1・2年で開校	県費教職員数	1・2・3年で開校	県費教職員数
生徒数(推計値・想定値)	1年	260	22	260	27	260	35
	2年	-		217		217	
	3年	-		-		200	
	合計	260		477		677	
通常学級数(県基準)	1年	8	8	8			
	2年	1	6	6			
	3年	1	1	6			
	合計	10	15	20			
通常学級数(国基準)	1年	7	7	7			
	2年	1	6	6			
	3年	1	1	5			
	合計	9	14	18			
特別支援学級数	-	-	-				
学級数合計(県基準)	10	15	20				
学級数合計(国基準)	9	14	18				

平成35年度

- 希望者・転入者は受入れ

		1年で開校		1・2年で開校		1・2・3年で開校	
		県費教職員数	県費教職員数	県費教職員数	県費教職員数		
生徒数(推計値・想定値)	1年	315	30	315	38	315	792
	2年	260		260		260	
	3年	-		217		217	
	合計	575		792		792	
通常学級数(県基準)	1年	9	9	9			
	2年	7	7	7			
	3年	1	6	6			
	合計	17	22	22			
通常学級数(国基準)	1年	8	8	8			
	2年	7	7	7			
	3年	1	6	6			
	合計	16	21	21			
特別支援学級数		-	-	-			
学級数合計(県基準)		17	22	22			
学級数合計(国基準)		16	21	21			

平成36年度

		平成36年度					
		1年で開校	県費教職員数	1・2年で開校	県費教職員数	1・2・3年で開校	県費教職員数
生徒数(推計値・想定値)	1年	335	43	335	43	335	43
	2年	315		315		315	
	3年	260		260		260	
	合計	910		910		910	
通常学級数(県基準)	1年	10	10	10			
	2年	9	9	9			
	3年	7	7	7			
	合計	26	26	26			
通常学級数(国基準)	1年	9	9	9			
	2年	8	8	8			
	3年	7	7	7			
	合計	24	24	24			
特別支援学級数		-	-	-			
学級数合計(県基準)		26	26	26			
学級数合計(国基準)		24	24	24			

新設中学校

(平成34年4月)

中学1、2年生は、**新設中学校**

中学3年生は、**希望制**

としたいと考えています。

※同じものがお手元の資料にも掲載してあります。

通学路について

文部科学省の小学校施設整備指針及び 中学校施設整備指針

「交通頻繁な道路、鉄道線路等との交差をさけるなど**安全な通学経路を確保することが**できることが重要である」

通学距離については、
おおむね**中学校は6km以内**と
定められています。

義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関
する法律施行令第4条第1項

通学路(案)

大畔美田線

下花輪駒木線

- 新設中学校学区(案)
- 現)中学校学区
- - - 下花輪駒木線
- 大畔美田線
- - - 東深井市野谷線
- 美田駒木線
- - - 県道駒木線
- ← 新設中学校への通学路(案)

新設中学校建設予定地

県道駒木線

始点

東深井市野谷線

美田駒木線



通学路(案)

大畔美田線

下花輪駒木線

県道駒木線

新設中学校
建設予定地

始点

東深井市野谷線

美田駒木線

- 新設中学校学区(案)
- 現)中学校学区
- 下花輪駒木線
- 大畔美田線
- 東深井市野谷線
- 美田駒木線
- 県道駒木線
- ← 新設中学校への通学路(案)





通学路(案)

大畔美田線

下花輪駒木線

- 新設中学校学区(案)
- 現)中学校学区
- - - 下花輪駒木線
- 大畔美田線
- - - 東深井市野谷線
- 美田駒木線
- - - 県道駒木線
- ← 新設中学校への通学路(案)

新設中学校
建設予定地

県道駒木線

始点

東深井市野谷線

美田駒木線



通学路(案)

大畔美田線

下花輪駒木線

- 新設中学校学区(案)
- 現)中学校学区
- - - 下花輪駒木線
- 大畔美田線
- - - 東深井市野谷線
- 美田駒木線
- - - 県道駒木線
- ← 新設中学校への通学路(案)

新設中学校
建設予定地

県道駒木線

始点

東深井市野谷線

美田駒木線





通学路(案)

大畔美田線

下花輪駒木線

- 新設中学校学区(案)
- 現)中学校学区
- - - 下花輪駒木線
- 大畔美田線
- - - 東深井市野谷線
- 美田駒木線
- - - 県道駒木線
- ← 新設中学校への通学路(案)

新設中学校
建設予定地

県道駒木線

始点

東深井市野谷線

美田駒木線





通学路(案)

大畔美田線

下花輪駒木線

- 新設中学校学区(案)
- 現)中学校学区
- - - 下花輪駒木線
- 大畔美田線
- - - 東深井市野谷線
- - - 美田駒木線
- - - 県道駒木線
- ← 新設中学校への通学路(案)

新設中学校
建設予定地

県道駒木線

始点

東深井市野谷線

美田駒木線





通学路(案)

大畔美田線

下花輪駒木線

- 新設中学校学区(案)
- 現)中学校学区
- - - 下花輪駒木線
- 大畔美田線
- - - 東深井市野谷線
- - - 美田駒木線
- - - 県道駒木線
- ← 新設中学校への通学路(案)

新設中学校
建設予定地

県道駒木線

始点

東深井市野谷線

美田駒木線





通学路(案)

大畔美田線

下花輪駒木線

- 新設中学校学区(案)
- 現)中学校学区
- - - 下花輪駒木線
- 大畔美田線
- - - 東深井市野谷線
- - - 美田駒木線
- - - 県道駒木線
- ← 新設中学校への通学路(案)

新設中学校
建設予定地

県道駒木線

始点

東深井市野谷線

美田駒木線





通学路(案)

大畔美田線

下花輪駒木線

- 新設中学校学区(案)
- 現)中学校学区
- - - 下花輪駒木線
- 大畔美田線
- - - 東深井市野谷線
- - - 美田駒木線
- - - 県道駒木線
- ← 新設中学校への通学路(案)

新設中学校
建設予定地

県道駒木線

始点

東深井市野谷線

美田駒木線





通学路(案)

大畔美田線

下花輪駒木線

- 新設中学校学区(案)
- 現)中学校学区
- - - 下花輪駒木線
- 大畔美田線
- - - 東深井市野谷線
- - - 美田駒木線
- - - 県道駒木線
- ← 新設中学校への通学路(案)

新設中学校
建設予定地

県道駒木線

始点

東深井市野谷線

美田駒木線





通学路(案)

大畔美田線

下花輪駒木線

- 新設中学校学区(案)
- 現)中学校学区
- - - 下花輪駒木線
- 大畔美田線
- - - 東深井市野谷線
- - - 美田駒木線
- - - 県道駒木線
- ← 新設中学校への通学路(案)

新設中学校
建設予定地



県道駒木線

始点

東深井市野谷線

美田駒木線





通学路(案)

大畔美田線

下花輪駒木線

- 新設中学校学区(案)
- 現)中学校学区
- - - 下花輪駒木線
- 大畔美田線
- - - 東深井市野谷線
- - - 美田駒木線
- - - 県道駒木線
- ← 新設中学校への通学路(案)

新設中学校
建設予定地



県道駒木線

始点

東深井市野谷線

美田駒木線





通学路(案)

新設中学校とおおたかの森中学校までの距離

下花輪駒木線

大畔美田線

県道駒木線

新設中学校
建設予定地

始点

東深井市野谷線

美田駒木線

今回の経路で新設中学校へ向かった
場合、おおむね **3キロ**



通学路(案)

新設中学校とおおたかの森中学校までの距離

下花輪駒木線

大畔美田線

新設中学校
建設予定地

県道駒木線

東深井市野谷線

美田駒木線

始点

同じ始点からおおたかの森中学校へ
向かった場合、おおむね **2.7** キロ



通学路(案)

新設中学校とおおたかの森中学校までの距離

新設中学校
建設予定地

下花輪駒木線

大畔美田線

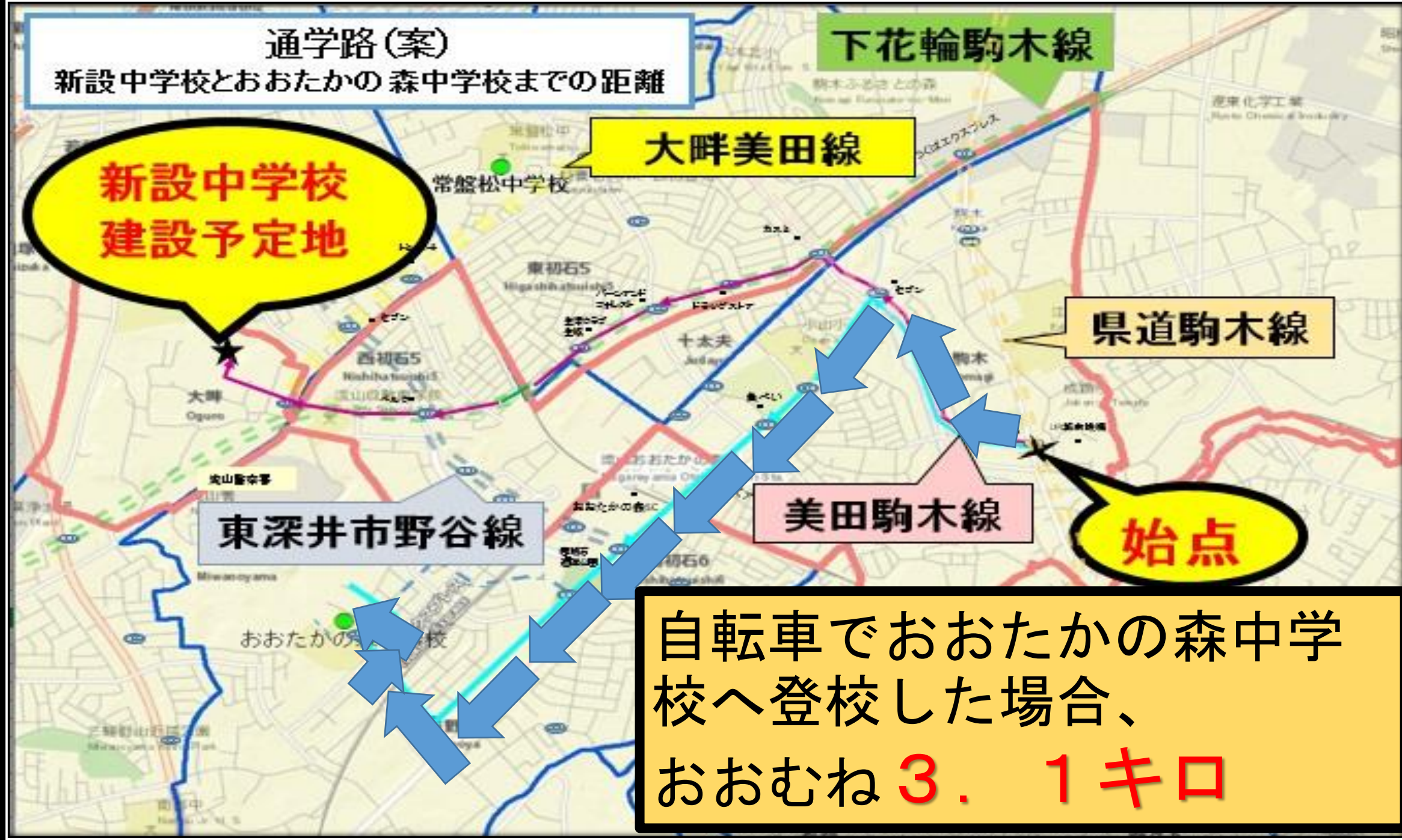
県道駒木線

東深井市野谷線

美田駒木線

始点

自転車でおおたかの森中学校へ登校した場合、
おおむね **3.1** キロ



通学路(案) 自転車通学者数想定値

平成30年11月 住民説明会 資料

増額見込	
	中
H34	21
H36	102

新設中学校
建設予定地

東初石5丁目	
	中
H34	41
H36	79

駒木	
	中
H34	169
H36	241

西初石5丁目	
	中
H34	45
H36	92

十太夫	
	中
H34	148
H36	343

合計	
	中
H34	477
H36	910

許可距離(想定)
新設中から1.7キロ

市野谷	
	中
H34	1
H36	6

東初石6丁目	
	中
H34	49
H36	43

西初石6丁目	
	中
H34	3
H36	4

通学路(案) 学校近辺の児童・生徒数想定値

増額見込			
	小	中	計
H34	248	21	269
H36	487	102	589

※マンション並び住宅増設による

**新設中学校
建設予定地**

東初石5丁目			
	小	中	計
H34	1	41	42
H36	1	79	80

駒木			
	小	中	計
H34		169	169
H36		241	241

西初石5丁目			
	小	中	計
H34	270	45	315
H36	358	92	450

十太夫			
	小	中	計
H34	155	148	303
H36	212	343	555

合計			
	小	中	計
H34	752	477	1229
H36	1185	910	2095

東初石6丁目			
	小	中	計
H34	27	49	76
H36	41	43	84

西初石6丁目			
	小	中	計
H34	23	3	26
H36	34	4	38

市野谷			
	小	中	計
H34	28	1	29
H36	52	6	58

登校時間について

	中学校	小学校
部活あり	おおむね7時	おおむね7時20分
部活なし	おおむね7時50分	おおむね8時



中学校で、部活動がないときは、小学校と連携をとり、学校周辺の安全対策を図ります。

安全対策について

今後、学校をはじめ地域の方々、流山警察署、市の道路管理課、県の土木事務所などの関係機関等と情報共有、御協力をいただきながら、児童生徒が安全に登下校できるように、見守り体制を構築していきたいと考えています。

**事務局からの説明は
以上となります。**

ご質問・ご意見

中学校の建設について

建設地・校舎・造成・スケジュール等

ご質問・ご意見

通学区区域案

通学路